

事業報告書

第1 事業結果の概況と運営状況

社会福祉法人成木保育園は、27年度28年度の二カ年計画での新園舎増改築を行い9月10日には新園舎で保育を始めた。12月20日に外構、倉庫も完成し、引き渡しを受け、土地、建物の変更、住所の変更、定員60名から65名に変更した。独立行政法人福祉医療機構より、2千万円の借り入れを行う。法人役員は運営及び新園舎建設について、数多く理事会を重ね、常に前進的な視野に立って、保育事業経営の責にあたり事業の発展に努め、新園舎完成に至った。1月7日に内覧会、3月4日には成木保育園開設50周年並びに新園舎竣工式を行った。

28年度は保育人員は706名、前半は定員を超過したが、定員増を1月に行ったため、その後若干の定員割れだった。特に0歳児1歳児等の低年齢の入所が多く、運営は順調であった。

保育は児童福祉法の趣旨にもとづいて、乳幼児の健全育成を目標として努力した。保育園事業の中で、零歳児特別保育事業、出前保育、保育所体験、小中学生の育児体験なども行った。世代間交流事業として、地域内高齢者、老人ホーム交流等をおこない、送迎バスの運行は昨年引き続き行い、保護者の送迎の負担の軽減を行った。

心を育む保育事業として、講師を依頼し体操教室、外人による英会話指導、音楽リズムでは初めてダンス教室を行い、古典芸能である南京玉すだれを鶴岡園長が指導し青梅市役所庁舎で一般市民にも発表した。食育指導を栄養士が、保健指導を看護師が年間通して計画的におこない、食育保育の一環で野菜を栽培し給食等で食べ、また保護者、職員への販売をして、青梅市社会福祉協議会に寄附をした。

職員については、資質向上を図るため、外部研修の機会を与え、また、2月には、内部研修として、青梅成木台病院の鹿野先生を講師に、救命講習を行った。この研修には保護者、一般市民にも周知し参加があった。